



日本政策投資銀行

2017年4月
新潟支店

新潟におけるインバウンド推進に向けて -認知度向上を図り、ホンモノ志向客の誘客促進を-

1. 調査概要

- 当行では、2012年度より毎年インターネットによるアンケート調査「アジア8地域・訪日外国人旅行者の意向調査」を行ってきた（調査対象：韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシアの8地域）。今年度は、欧米豪（調査対象：イギリス、フランス、アメリカ、オーストラリア）の4地域を加えた計12地域の海外旅行経験者を対象として、2016年6月から7月にかけて（公財）日本交通公社と共同で調査を実施した。
- 本件調査は、新潟地域を訪れたことがある訪日外国人旅行者の日本旅行に対する意向について整理を行っている。インバウンド観光が将来の成長産業として期待されている中、本件調査が新潟地域への誘客策を考える上での一助となれば幸いである。

2. 今回調査のポイント

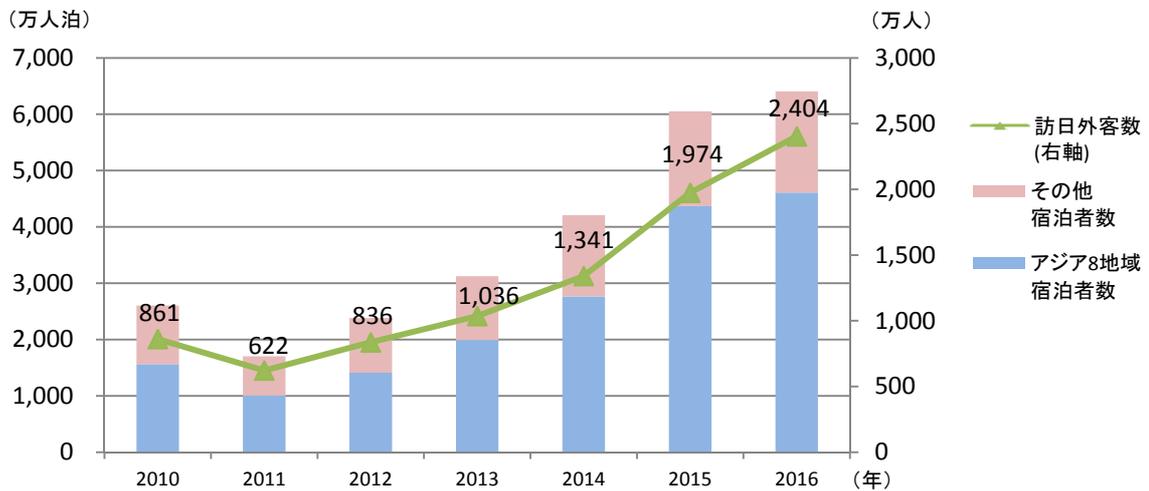
- 調査概要は以下の通り。
 - ①新潟県の2016年の外国人延べ宿泊者数は、台湾、韓国、香港、タイからの宿泊者数が増加した結果、全体では187千人泊と2007年の調査開始以降、過去最高を記録している。その一方で、中国からの宿泊者数が減少、欧米豪についても豪州以外は減少しており、引き続き冬場中心の構造の中で、全国平均の伸び率を下回る水準（富山県より上回る一方、石川県より下回る）となった。本県は、全国33位に位置するなど、旅館やリゾートホテルの客室稼働率も3割～4割程度と依然として全国的に低位な状況にある。
 - ②アンケート調査によると、新潟、佐渡旅行の形態は、新潟は個人旅行、佐渡はパック旅行が多い傾向があり、新潟、佐渡を訪れる外国人観光客の約8割は、訪日リピーター客である。ショッピング場所は、家電量販店等が挙げられており、アジア系観光客が日用品等をお土産に購入していることが推測される。新潟、佐渡訪問希望者が体験してみたいこととしては、「日本食」、「自然」、「史跡」、「桜」があげられており、地域別にみると、アジアの旅行者は「食体験」、欧米豪の旅行者は「史跡」に興味を持っている傾向がある。
 - ③新潟、佐渡の認知度は、台湾や香港では比較的高いものの、全体的には依然として高いといえない。日本らしい温泉や雪景色、桜といった自然資源に加え、地方国際空港を有する利点、東京とのアクセスの良さという特徴を生かすとともに、海外での情報発信等メディア戦略を描きつつ、ホンモノ志向客の認知度を高め、観光宿泊施設の客室稼働率を高めていく必要がある。また、佐渡の知名度向上に加えて、交通機関の利用方法の発信やICTを活用した多言語対応など、観光の情報インフラを整えていくことが重要になるだろう。

全国におけるインバウンドの現状

-訪日外国人旅行者はアジアを中心に増加し、2016年は過去最高-

- 全国の訪日外国人旅行者数は、2013年に1,000万人の大台に乗り、2016年には2,404万人と過去最高を記録。また外国人延べ宿泊者数は、2016年で前年比5.9%増の6,407万人泊となっている。
- 2016年の外国人延べ宿泊者数を国・地域別にみると、中国の宿泊者数が1,683万人泊（対前年比3.3%増）と前年に続き最も多くなった。マレーシア、シンガポールなど東南アジアの国々からの宿泊数も着実に増加している一方で、対訪日外国人旅客比率は減少している。

図表1 訪日外客数と外国人延べ宿泊者数の推移



	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		2016年		増減率
	宿泊者数	構成比													
アジア8地域	1,563	60.1%	1,004	59.0%	1,410	59.2%	1,991	63.7%	2,765	65.7%	4,368	72.2%	4,611	72.0%	5.6%
韓国	415	15.9%	255	15.0%	289	12.1%	378	12.1%	434	10.3%	674	11.1%	780	12.2%	15.7%
中国	451	17.3%	272	16.0%	404	17.0%	415	13.3%	780	18.5%	1,629	26.9%	1,683	26.3%	3.3%
台湾	336	12.9%	242	14.2%	380	15.9%	618	19.8%	794	18.9%	1,049	17.3%	1,062	16.6%	1.3%
香港	191	7.4%	130	7.6%	162	6.8%	255	8.2%	318	7.6%	481	7.9%	520	8.1%	8.2%
タイ	63	2.4%	40	2.4%	81	3.4%	143	4.6%	200	4.8%	240	4.0%	240	3.8%	0.3%
シンガポール	77	3.0%	45	2.6%	62	2.6%	88	2.8%	111	2.6%	138	2.3%	152	2.4%	10.1%
マレーシア	31	1.2%	21	1.2%	33	1.4%	51	1.6%	74	1.8%	84	1.4%	94	1.5%	12.4%
インドネシア	-	-	-	-	-	-	43	1.4%	55	1.3%	73	1.2%	78	1.2%	7.5%
その他	1,039	39.9%	698	41.0%	972	40.8%	1,134	36.3%	1,443	34.3%	1,683	27.8%	1,795	28.0%	6.7%
アメリカ	277	10.6%	190	11.2%	248	10.4%	289	9.3%	319	7.6%	380	6.3%	434	6.8%	14.3%
オーストラリア	72	2.8%	49	2.9%	67	2.8%	89	2.8%	117	2.8%	147	2.4%	162	2.5%	10.0%
イギリス	53	2.0%	36	2.1%	49	2.1%	58	1.9%	72	1.7%	91	1.5%	98	1.5%	7.7%
フランス	55	2.1%	26	1.5%	41	1.7%	55	1.8%	67	1.6%	77	1.3%	84	1.3%	8.8%
合計	2,602		1,702		2,382		3,124		4,207		6,051		6,407		5.9%
対訪日外国人客数比率	302.2%		273.6%		285.0%		301.5%		313.7%		306.5%		266.5%		

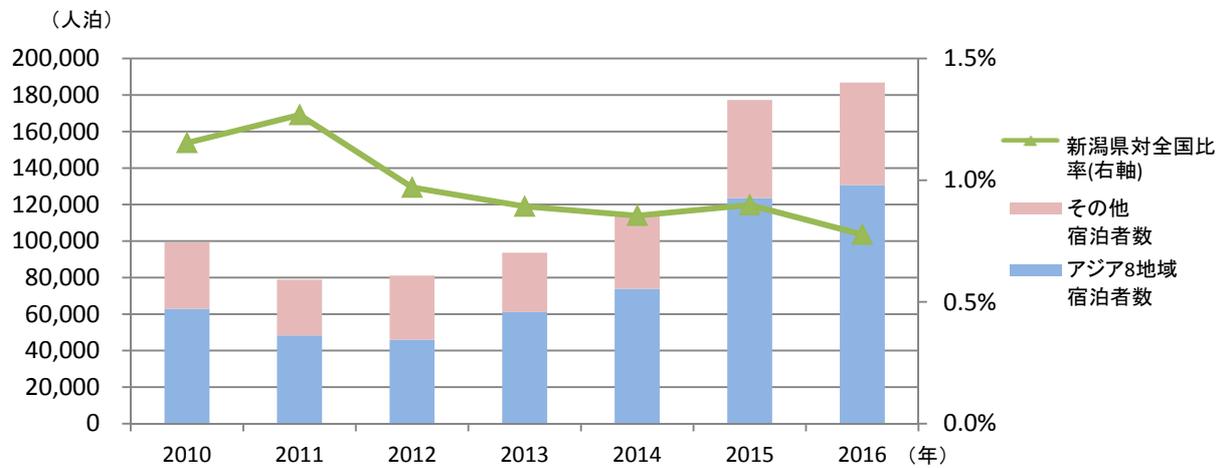
(注1)国籍(出身地)不詳をその他に含む。
 (注2)アジア8地域とは韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア(2010年1月以降)、インドネシア(2013年1月以降)をいう。
 (注3)従業者数10人以上の施設が調査対象
 (注4)2016年宿泊者数は速報値、訪日外客数は暫定値
 (出所)国土交通省「宿泊旅行統計調査」、日本政府観光局(JNTO)「国・地域別 / 目的別 訪日外客数」を基に日本政策投資銀行作成

新潟県におけるインバウンドの現状（１）

-調査開始以降、最高の宿泊者数を記録するものの、全国比では低下-

- 新潟県における2016年の外国人延べ宿泊者数は、全国（対前年比5.9%増）と同水準の増加率（同5.3%増）を示し、対全国比率において再び低下傾向を示している。
- 国・地域別にみると、タイ、台湾、香港を中心に引き続き増加傾向を示している一方で、中国をはじめとして前年対比で減少した地域があった。

図表２ 新潟県の外国人延べ宿泊者数および新潟県対全国比率の推移



(単位：人泊)

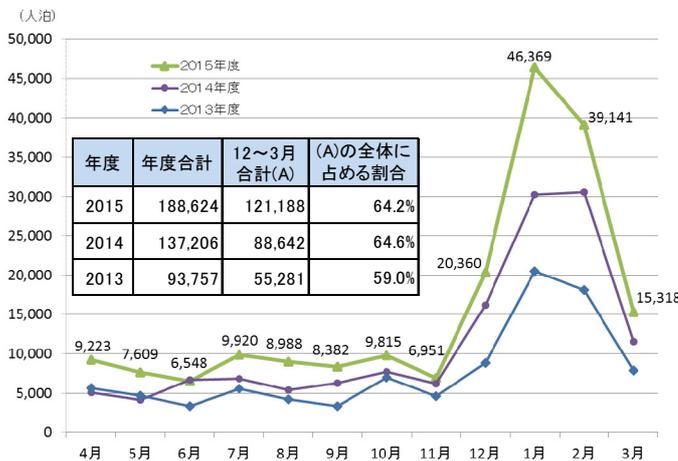
	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		2016年		増減率
	宿泊者数	構成比	宿泊者数	構成比	宿泊者数	構成比	宿泊者数	構成比	宿泊者数	構成比	宿泊者数	構成比	宿泊者数	構成比	
アジア8地域	62,970	63.4%	48,340	61.3%	45,950	56.7%	61,090	65.3%	73,870	64.5%	123,610	69.7%	130,720	70.0%	5.8%
韓国	21,700	21.8%	15,320	19.4%	12,300	15.2%	14,640	15.6%	11,710	10.2%	17,720	10.0%	19,230	10.3%	8.5%
中国	12,440	12.5%	9,940	12.6%	12,420	15.3%	14,110	15.1%	18,460	16.1%	38,240	21.6%	34,500	18.5%	-9.8%
台湾	17,080	17.2%	15,900	20.2%	12,930	15.9%	19,530	20.9%	27,220	23.8%	36,830	20.8%	43,090	23.1%	17.0%
香港	8,330	8.4%	4,540	5.8%	3,520	4.3%	6,700	7.2%	7,090	6.2%	13,460	7.6%	15,660	8.4%	16.3%
タイ	1,160	1.2%	1,080	1.4%	2,440	3.0%	1,950	2.1%	3,420	3.0%	6,170	3.5%	7,290	3.9%	18.2%
シンガポール	1,410	1.4%	880	1.1%	1,280	1.6%	1,790	1.9%	3,170	2.8%	5,180	2.9%	5,460	2.9%	5.4%
マレーシア	850	0.9%	680	0.9%	1,060	1.3%	1,340	1.4%	1,420	1.2%	2,960	1.7%	3,180	1.7%	7.4%
インドネシア	-	-	-	-	-	-	1,030	1.1%	1,380	1.2%	3,050	1.7%	2,310	1.2%	-24.3%
その他	36,360	36.6%	30,530	38.7%	35,150	43.3%	32,500	34.7%	40,740	35.5%	53,710	30.3%	56,060	30.0%	4.4%
アメリカ	7,560	7.6%	6,310	8.0%	8,200	10.1%	8,220	8.8%	8,550	7.5%	11,310	6.4%	10,670	5.7%	-5.7%
オーストラリア	2,630	2.6%	4,550	5.8%	2,620	3.2%	2,770	3.0%	3,090	2.7%	8,340	4.7%	8,600	4.6%	3.1%
イギリス	3,570	3.6%	3,440	4.4%	3,310	4.1%	1,990	2.1%	3,300	2.9%	3,430	1.9%	3,010	1.6%	-12.2%
フランス	800	0.8%	660	0.8%	730	0.9%	1,010	1.1%	900	0.8%	1,270	0.7%	1,200	0.6%	-5.5%
合計	99,330		78,870		81,100		93,590		114,610		177,320		186,780		5.3%
対訪日外国人客数比率	1.15%		1.27%		0.97%		0.90%		0.85%		0.90%		0.78%		
対全国の外国人宿泊者数比率	0.38%		0.46%		0.34%		0.30%		0.27%		0.29%		0.29%		

(注1)国籍(出身地)不詳をその他に含む。
 (注2)アジア8地域とは韓国、中国、台湾、香港、シンガポール、タイ、マレーシア(2010年1月以降)、インドネシア(2013年1月以降)をいう。
 (注3)従業者数10人以上の施設が調査対象
 (注4)2016年宿泊者数は速報値
 (注5)対全国比率(対訪日外国人客数比率)=新潟県外国人延べ宿泊者数÷訪日外客数(2016年は暫定値)
 (注6)対全国の外国人宿泊者数比率=新潟県外国人延べ宿泊者数÷全国外国人延べ宿泊者数
 (出所)国土交通省「宿泊旅行統計調査」、日本政府観光局(JNTO)「国・地域別/目的別訪日外客数」を基に日本政策投資銀行作成

新潟県におけるインバウンドの現状（２） -冬場が中心であるものの、通年で増加の傾向-

- 2015年度における新潟県の外国人延べ宿泊者数を月別にみると、通年での宿泊者数は増加傾向にあるものの、引き続き冬場スキーシーズンの12月～3月の全体に占める割合が高く64.2%（2014年64.6%、2013年度59.0%）となっている。（参考1参照）
- 2014年度から2015年度での変化幅をみると、①魚沼地域では台湾の宿泊者数、②上越地域ではオーストラリアの宿泊者数、③下越地域では中国の宿泊者数が引き続き増加している。

図表3 2013年度～2015年度新潟県の月別外国人延べ宿泊者数



図表4 2015年度新潟県の外国人延べ宿泊者数

(単位:人泊)

		合計	
		宿泊者数	構成比
アジア8地域	韓国	14,007	7.4%
	中国	31,151	16.5%
	台湾	39,129	20.7%
	香港	15,684	8.3%
	タイ	5,803	3.1%
	シンガポール	6,265	3.3%
	マレーシア	2,477	1.3%
	インドネシア	2,547	1.4%
	その他	71,561	37.9%
その他	アメリカ	7,959	4.2%
	オーストラリア	32,285	17.1%
	イギリス	3,604	1.9%
	フランス	1,192	0.6%
合計	188,624	100.0%	
	構成比	100.0%	
	前年度比		

図表5 新潟県の季節別・地域別外国人延べ宿泊者数増減（2014年度－2015年度）

(単位:人泊)

	四半期別				地域別					合計	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	下越	中越	上越	魚沼	佐渡	宿泊者数	構成比(ポイント)
アジア8地域	+5,346	+7,521	+7,420	+16,280	+13,553	+1,976	+3,065	+19,151	-1,178	+36,567	1.9%
韓国	+499	+590	+636	+2,101	+937	+158	+1,454	+1,151	+126	+3,826	-3.0%
中国	+4,026	+5,227	+2,676	+2,719	+11,267	+699	-22	+2,780	-76	+14,648	1.9%
台湾	-1,054	+368	-19	+6,461	-1,037	+367	+841	+7,869	-2,284	+5,756	1.5%
香港	+243	+550	+2,530	+3,054	+1,155	+31	+760	+4,435	-4	+6,377	-0.4%
タイ	+182	+191	+444	+789	+377	-121	-195	+1,475	+70	+1,606	1.0%
シンガポール	+317	+223	+1,130	+1,057	+413	+239	+628	+1,412	+35	+2,727	0.5%
マレーシア	+527	+165	+203	-36	+425	+277	-122	+280	-1	+859	0.0%
インドネシア	+606	+207	-180	+135	+16	+326	-279	-251	+956	+768	0.4%
その他	+2,062	+1,118	-415	+12,086	+2,293	+47	+7,165	+4,719	+627	+14,851	-1.9%
アメリカ	+300	+23	+243	-210	+506	-83	-134	-46	+113	+356	-1.5%
オーストラリア	+251	+163	+935	+8,861	+58	+148	+7,663	+2,291	+50	+10,210	-0.4%
イギリス	80	-111	-53	201	329	-14	82	-373	93	117	0.1%
フランス	57	17	18	264	189	11	-66	119	103	356	0.2%
合計	+7,408	+8,639	+7,005	+28,366	+15,846	+2,023	+10,230	+23,870	-551	+51,418	0.0%
構成比(ポイント)	-2.9%	-0.5%	0.1%	3.3%	-4.4%	-1.2%	-1.1%	6.4%	0.4%	0.0%	0.0%

(注1)国土交通省の「宿泊旅行統計調査」は調査対象期間が暦年であり、かつホテル・旅館・簡易宿泊所を対象とした調査。本調査の対象期間は年度であり、国際観光ホテル整備法登録ホテル等を対象とした抽出調査となっており、対象期間及び対象件数に違いあり。

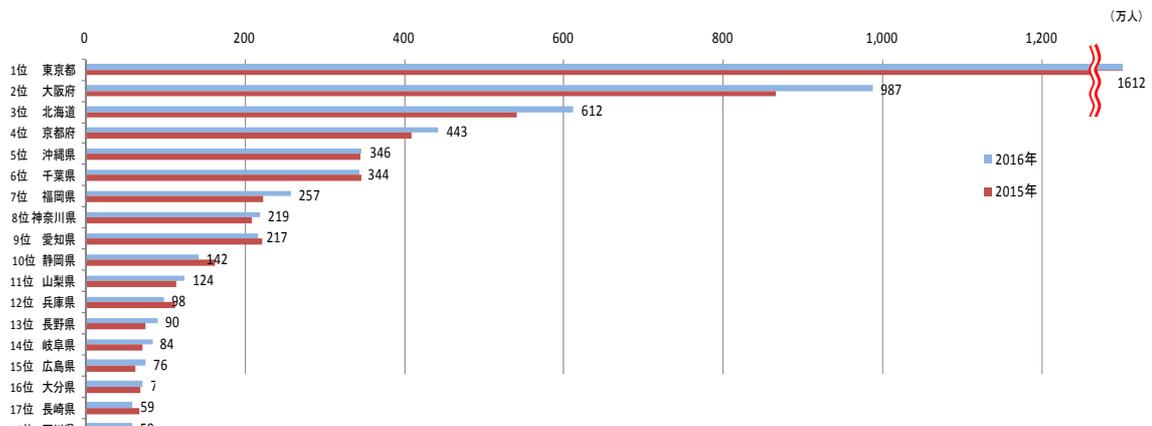
(注2)地区区分は巻末の[注]を参照

(出所)新潟県産業労働観光部観光局観光振興課の資料を基に日本政策投資銀行作成

都道府県別外国人延べ宿泊者数の状況 -2016年の増加率は、全国平均を下回る水準-

- 都道府県別にみると、新潟県の外国人宿泊者数は、2016年において全国33位に位置しており、対前年増加率は5.3%と全国平均を下回る水準となっている。
- なお、新潟県内の宿泊施設の客室稼働率は、全国的にみると低位な状況にあるが、国内旅行者数が減少しているなかで、外国人宿泊者数の積極的な受入が改善の一つの方策となる可能性があるものとも思われる。（参考2参照）

図表6 都道府県別外国人延べ宿泊者数



図表7 都道府県別外国人延べ宿泊者数伸び率・寄与度

寄与度 順位	都道府県名	2014年	2015年	2016年		寄与度
		宿泊者数(人)	宿泊者数(人)	宿泊者数(人)	伸び率	
全 国		42,072,820	60,509,240	64,067,520	5.9%	—
1位	東京都	12,521,400	16,076,970	16,120,820	0.3%	0.1%
2位	大阪府	5,954,990	8,653,660	9,871,080	14.1%	2.0%
3位	北海道	3,705,430	5,413,800	6,119,500	13.0%	1.2%
4位	京都府	2,948,360	4,092,200	4,427,160	8.2%	0.6%
5位	沖縄県	2,225,040	3,440,620	3,463,540	0.7%	0.0%
6位	千葉県	2,645,680	3,458,400	3,440,450	-0.5%	0.0%
7位	福岡県	1,266,780	2,225,180	2,573,820	15.7%	0.6%
9位	神奈川県	1,353,540	2,088,100	2,188,710	4.8%	0.2%
8位	愛知県	1,463,330	2,214,350	2,168,980	-2.0%	-0.1%
10位	静岡県	746,870	1,630,100	1,417,290	-13.1%	-0.4%
18位	石川県	315,070	433,530	587,880	35.6%	0.3%
31位	富山県	132,520	192,200	194,440	1.2%	0.0%
33位	新潟県	114,610	177,320	186,780	5.3%	0.0%

(注1)順位は2016年順、2016年宿泊者数は速報値
 (注2)従業者数10人以上が対象
 (出所)国土交通省「宿泊旅行統計調査」

「アジア8地域及び欧米豪における 訪日外国人旅行者の意向調査」 -全国及び主要都市と新潟・佐渡の訪問経験者及び訪問希望者の比較-

調査概要

1. 調査方法

インターネットによる調査

2. 調査時期

2016年6月23日～2016年7月8日

3. 調査地域

韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの12地域

(注：中国は北京及び上海在住者のみ)

4. 調査対象者

20～59歳の男女、かつ、海外旅行経験者

(注：中国-香港-マカオ間、マレーシア-シンガポール間、タイ-マレーシア間、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム間、オーストラリア-ニュージーランド間、イギリス・フランス-欧州各国間の旅行については、海外旅行経験から除く)

5. 有効回答者数

上記各地域に居住する住民計6,198人 (注：中国は北京及び上海在住者のみ。割合は北京50%：上海50%)

(注：n=29以下は参考値として記載)

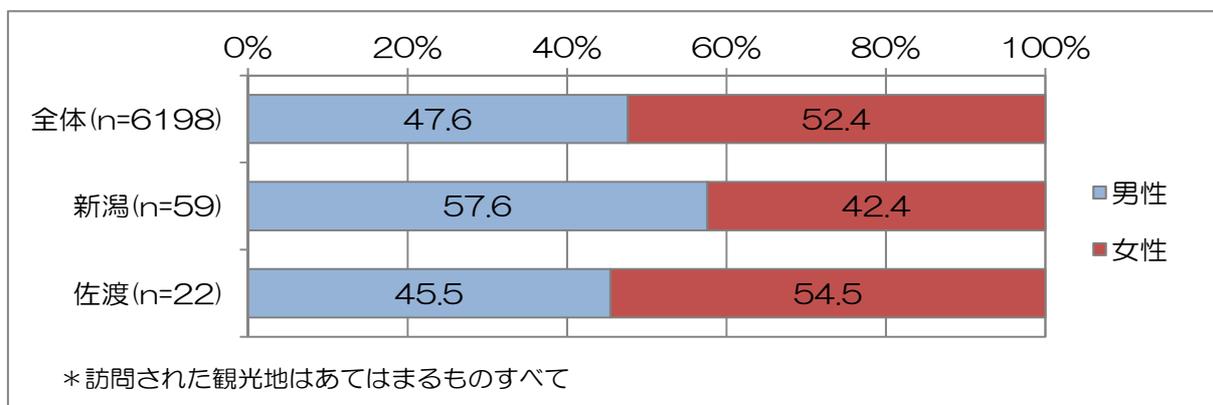
6. 協力実査会社

楽天リサーチ株式会社

属性①

- 日本を訪れたことがあると回答した訪日経験者のうち、新潟訪問経験者は59人、佐渡訪問経験者は22人で、どちらにおいても、男女比は半々程度、年代は、20～40代の比較的若い世代が5割以上を占めている。

図表8 (訪問地別) 性別割合



図表9 (訪問地別) 年代割合



属性②

-新潟では個別手配、佐渡ではパッキング参加を愛好する傾向-

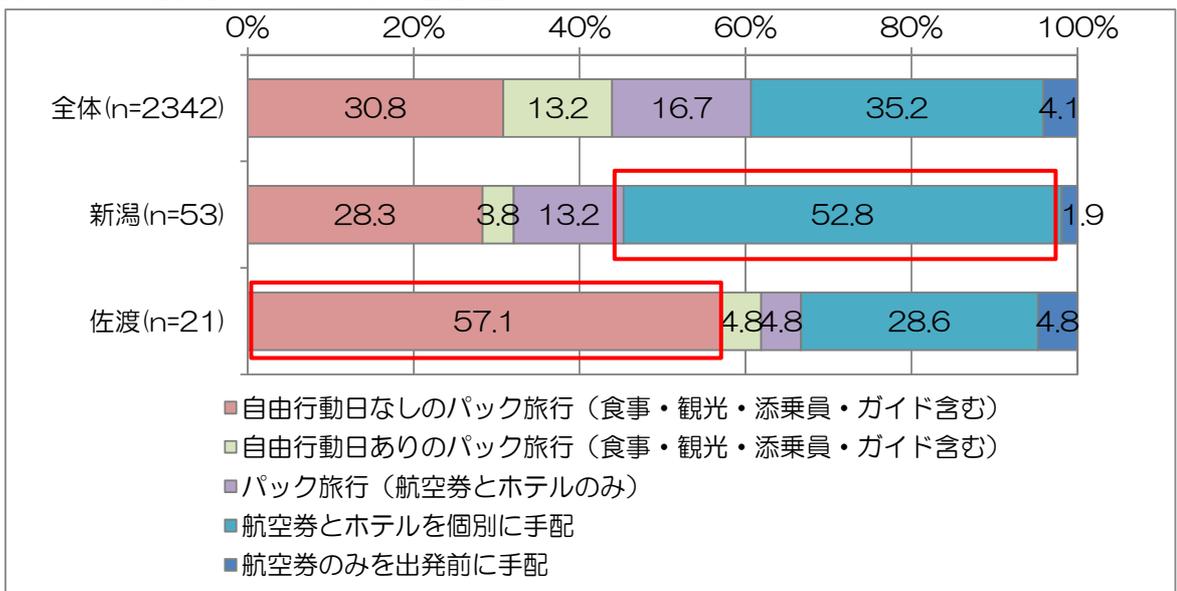
- 国別にみると、新潟訪問経験者は中国、台湾、香港で5割以上を占め、佐渡訪問経験者は中国とタイで8割を占めており、アジア系の訪問客が多い。
- 旅行形態は、新潟訪問経験者は航空券、ホテルの個別手配、佐渡訪問経験者はパッキングへの参加の割合が高い傾向にある。

図表10 (訪問地別) 国別割合 (単位：n・%)

		n	中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
全体		6,198	507	501	497	512	516	516	519	509	536	527	530	528
		100.0	8.2	8.1	8.0	8.3	8.3	8.3	8.4	8.2	8.6	8.5	8.6	8.5
訪問地	新潟	59	10	11	12	5	7	4	3	2	2	1	0	2
		100.0	16.9	18.6	20.3	8.5	11.9	6.8	5.1	3.4	3.4	1.7	0.0	3.4
	佐渡	22	9	0	1	1	8	0	0	3	0	0	0	0
		100.0	40.9	0.0	4.5	4.5	36.4	0.0	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	東京	1577	218	231	248	148	178	101	80	157	48	56	43	69
		100.0	13.8	14.6	15.7	9.4	11.3	6.4	5.1	10.0	3.0	3.6	2.7	4.4
	東北	67	11	18	11	0	8	4	6	4	0	1	2	2
		100.0	16.4	26.9	16.4	0.0	11.9	6.0	9.0	6.0	0.0	1.5	3.0	3.0
	北陸	53	14	11	13	1	4	1	5	0	0	0	2	2
		100.0	26.4	20.8	24.5	1.9	7.5	1.9	9.4	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8
	京都	969	134	161	175	83	108	55	40	91	17	25	27	53
		100.0	13.8	16.6	18.1	8.6	11.1	5.7	4.1	9.4	1.8	2.6	2.8	5.5
	大阪	1064	139	175	225	127	106	53	51	83	12	20	24	49
	100.0	13.1	16.4	21.1	11.9	10.0	5.0	4.8	7.8	1.1	1.9	2.3	4.6	
四国	73	22	13	8	8	5	5	1	4	0	0	2	5	
	100.0	30.1	17.8	11.0	11.0	6.8	6.8	1.4	5.5	0.0	0.0	2.7	6.8	
九州	314	29	62	99	46	28	11	9	20	1	2	2	5	
	100.0	9.2	19.7	31.5	14.6	8.9	3.5	2.9	6.4	0.3	0.6	0.6	1.6	
沖縄	351	46	90	77	25	30	22	13	14	5	11	11	7	
	100.0	13.1	25.6	21.9	7.1	8.5	6.3	3.7	4.0	1.4	3.1	3.1	2.0	

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

図表11 (訪問地別) 旅行形態割合



訪問動向①

-新潟、佐渡を訪れる外国人観光客の約8割は、訪日リピーター客-

- 新潟、佐渡を訪れる外国人観光客は、訪日リピーター客が多い傾向にある。国別にみると、中国、台湾、香港からの観光客が多い。
- 国別にみると、新潟訪問経験者では、中国、台湾、香港が、佐渡訪問経験者では、中国、タイが多い。どの国においても、訪日経験回数は2回以上が約8割以上を占めている。

図表12 (訪問地別) 訪日経験回数



図表13 国別訪日経験回数（新潟、佐渡訪問経験者のみ）

(単位：n・%)

		1回	2回	3回	4-5回	6回以上
中国						
新潟	10	2	1	0	6	
	100.0	20.0	10.0	0.0	60.0	
佐渡	9	2	3	1	2	
	100.0	22.2	11.1	33.3	11.1	
台湾						
新潟	11	1	2	4	3	
	100.0	9.1	18.2	36.4	27.3	
佐渡	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
香港						
新潟	12	0	1	2	9	
	100.0	0.0	8.3	16.7	75.0	
佐渡	1	0	0	0	1	
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
韓国						
新潟	5	0	1	2	1	
	100.0	0.0	20.0	40.0	20.0	
佐渡	1	0	1	0	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
タイ						
新潟	7	3	1	0	3	
	100.0	42.9	14.3	0.0	42.9	
佐渡	8	0	4	2	1	
	100.0	0.0	50.0	25.0	12.5	
インドネシア						
新潟	4	0	3	1	0	
	100.0	0.0	75.0	25.0	0.0	
佐渡	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
マレーシア						
新潟	3	1	0	0	2	
	100.0	33.3	0.0	0.0	66.7	
佐渡	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
シンガポール						
新潟	2	1	0	0	1	
	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	
佐渡	3	1	1	0	1	
	100.0	33.3	33.3	0.0	33.3	
イギリス						
新潟	2	0	1	0	1	
	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	
佐渡	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
アメリカ						
新潟	1	1	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
佐渡	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
フランス						
新潟	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
佐渡	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
オーストラリア						
新潟	2	0	0	2	0	
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
佐渡	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

訪問動向②

-全体と比べ、家電量販店でのショッピングが多い-

- 新潟訪問経験者の訪問目的は、観光が最も多いが、ビジネス・国際会議が全体に比べて多い。佐渡は観光目的がほとんどである。
- ショッピングをした場所としては、新潟、佐渡どちらもショッピングモール、家電量販店、ディスカウントショップ、100円ショップ等の店舗があげられており、お土産用の日用品を購入していることが推測される。どちらの地域においても全体に比べ、家電量販店の割合が全体に比べて2倍近くと高い。

(単位：n・%)

		n	観光	ビジネス・国際会議	研修・インセンティブ	留学	た親 め 族 や 知 り 合 い に 会 う	その他
全体		2,545 100.0	2,288 89.9	129 5.1	53 2.1	8 0.3	54 2.1	13 0.5
新潟		59	50	6	0	0	3	0
		100.0	84.7	10.2	0.0	0.0	5.1	0.0
佐渡		22	21	1	0	0	0	0
		100.0	95.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
東京		1,577	1,421	78	27	4	38	9
		100.0	90.1	4.9	1.7	0.3	2.4	0.6
北海道		633	600	14	6	2	9	2
		100.0	94.8	2.2	0.9	0.3	1.4	0.3
東北		67	59	6	1	0	1	0
		100.0	88.1	9.0	1.5	0.0	1.5	0.0
北陸		53	48	4	0	0	1	0
		100.0	90.6	7.5	0.0	0.0	1.9	0.0
京都		969	896	44	11	2	15	1
		100.0	92.5	4.5	1.1	0.2	1.5	0.1
大阪		1,064	991	45	11	1	14	2
		100.0	93.1	4.2	1.0	0.1	1.3	0.2
四国		73	71	1	0	0	1	0
		100.0	97.3	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0
九州		314	298	11	0	0	5	0
		100.0	94.9	3.5	0.0	0.0	1.6	0.0
沖縄		351	325	16	4	1	4	1
		100.0	92.6	4.6	1.1	0.3	1.1	0.3

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

↑ 図表14 (訪問地別) 訪問目的 ↓ 図表15 (訪問地別) ショッピングをした場所

(単位：%)

		n	百貨店	ショッピングモール	スーパーマーケット	コンビニエンスストア	家電量販店	石専門店(服飾専門店、宝)	大型のディスカウントストア	100円ショップ	ドラッグストア	観光地の土産物屋	ホテル・旅館等の宿泊施設	空港	その他
全体		2,545	50.6	59.0	51.9	51.0	24.8	30.1	37.4	39.7	40.0	50.1	18.7	45.1	0.3
新潟		59	52.5	62.7	61.0	55.9	49.2	40.7	59.3	49.2	54.2	55.9	23.7	50.8	1.7
	佐渡	22	45.5	54.5	50.0	40.9	54.5	36.4	36.4	59.1	40.9	45.5	45.5	45.5	0.0
東京	1,577	55.7	64.8	57.1	55.1	26.3	32.6	39.4	43.5	42.3	52.1	18.7	50.1	0.4	
北海道	633	55.9	65.1	60.3	55.5	27.0	33.6	41.1	43.8	49.4	58.0	23.5	53.2	0.2	
東北	67	61.2	61.2	59.7	62.7	40.3	40.3	43.3	50.7	52.2	64.2	38.8	44.8	0.0	
北陸	53	62.3	60.4	62.3	62.3	39.6	34.0	54.7	58.5	69.8	52.8	41.5	52.8	0.0	
京都	969	59.4	64.8	61.2	60.3	31.8	36.7	41.7	47.5	48.5	56.6	20.0	52.5	0.2	
大阪	1,064	57.2	65.1	61.2	60.9	28.2	33.8	42.6	47.5	50.1	56.1	19.3	52.4	0.2	
四国	73	54.8	60.3	52.1	64.4	43.8	38.4	49.3	52.1	54.8	60.3	34.2	45.2	0.0	
九州	314	59.9	63.7	64.3	60.8	28.7	31.5	43.0	53.2	59.9	56.7	24.2	52.2	0.3	
沖縄	351	53.0	64.4	60.7	55.8	30.8	31.3	42.5	45.9	53.3	55.0	24.8	51.0	0.0	

* 回答はあてはまるものすべて

認知度・イメージ①

-国別では、台湾、香港において新潟、佐渡の認知度が高い傾向-

- 観光地としての認知度は、新潟、佐渡のどちらも国内の主要な観光地に比べて低い。地域別にみると、欧米豪全体に比べて、アジア全体のほうが新潟、佐渡の認知度は高い。
- 国別にみると、新潟の認知度は、台湾、香港において高い傾向がある。

図表16 国内観光地の認知度（アジア・欧米豪別）

(単位：%)

	n	新潟	佐渡	東京	富士山	北海道	札幌
全体	6,198	11.5	4.0	70.5	68.4	49.6	39.9
アジア全体	4,077	15.5	5.0	73.6	71.5	65.1	49.8
欧米豪全体	2,121	3.9	2.2	64.6	62.4	19.7	21.0

	n	名古屋	京都	大阪	神戸	長崎	沖縄
全体	6,198	39.1	54.5	58.1	41.6	37.4	47.1
アジア全体	4,077	51.1	60.8	67.0	49.4	39.0	54.8
欧米豪全体	2,121	16.0	42.4	41.2	26.5	34.3	32.3

*回答はあてはまるものすべて

図表17 (国別) 新潟、佐渡の認知度

(単位：%)

	n	新潟	佐渡		n	新潟	佐渡
中国	507	17.2	10.5	マレーシア	519	8.3	1.5
台湾	501	36.9	7.6	シンガポール	509	8.4	2.9
香港	497	30.6	5.6	イギリス	536	4.9	2.6
韓国	512	7.0	2.0	アメリカ	527	4.6	1.7
タイ	516	8.9	6.0	フランス	530	2.8	1.9
インドネシア	516	7.6	3.7	オーストラリア	528	3.4	2.5

*回答はあてはまるものすべて

認知度・イメージ②

- 新潟、佐渡訪問経験者が持つ日本のイメージは温泉、雪景色、城、桜などが挙げられる。

図表18 日本の観光地のイメージ（全体と訪問経験者比較）

	(単位：%)			【全体との差】	
	全体 (n=6198)	新潟 (n=59)	佐渡 (n=22)	新潟 (n=59)	佐渡 (n=22)
温泉	65.6	78.0	68.2	12.4	2.6
桜	65.5	72.9	68.2	7.4	2.7
紅葉	49.9	64.4	54.5	14.5	4.6
雪景色	46.9	74.6	54.5	27.7	7.6
山岳	37.3	49.2	63.6	11.8	26.3
海	38.4	40.7	27.3	2.3	▲ 11.1
城	59.3	74.6	68.2	15.3	8.9
神社仏閣	50.8	69.5	45.5	18.7	▲ 5.3
富士山	69.6	76.3	54.5	6.6	▲ 15.1
ダム（巨大インフラ）	13.4	25.4	45.5	12.1	32.1
日本庭園	51.9	62.7	68.2	10.8	16.3
日本旅館	58.1	66.1	50.0	8.0	▲ 8.1
新幹線	52.9	62.7	54.5	9.8	1.6
都市景観（高層ビル街）	26.2	40.7	45.5	14.5	19.3
日本的な街並み	65.5	71.2	45.5	5.7	▲ 20.1
田園風景	30.3	45.8	54.5	15.4	24.2
百貨店（デパ地下）	36.9	55.9	31.8	19.1	▲ 5.0
スーパーマーケット（コンビニ）	29.2	44.1	22.7	14.9	▲ 6.4
ショッピングモール	40.9	55.9	45.5	15.0	4.6
テーマパーク	41.0	47.5	50.0	6.5	9.0
工場	7.1	20.3	31.8	13.3	24.8
島々の風景	44.0	49.2	45.5	5.1	1.4
居酒屋	32.5	59.3	45.5	26.8	12.9
祭り	40.9	54.2	45.5	13.3	4.5
この中には行ってみたいところはない	2.0	0.0	0.0	▲ 2.0	▲ 2.0

*回答はあてはまるものすべて

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

訪日旅行に求めること

- 「伝統的日本料理を食べる」を体験したいことに挙げる割合が高い-

- 新潟への訪問意向は他の主要な観光地に比べて低い。
- 新潟、佐渡の訪問希望者別が日本で体験してみたいことをみると、新潟では、「伝統的日本料理を食べる」の割合が最も高く、次いで「現地の人々が利用している安価な食事を食べる」、「自然や風景の見物」、「桜の鑑賞」が続く。佐渡では、「桜の鑑賞」が最も高く、次いで「有名な史跡や歴史的建造物の見学」「伝統的な日本料理を食べる」が続く。

図表19 地域別訪問希望者

	n	%		n	%
全体	5,590	100.0	北陸	473	8.5
新潟	139	2.5	京都	1,842	33.0
佐渡	54	1.0	大阪	1,982	35.5
東京	2,917	52.2	四国	538	9.6
北海道	2,289	40.9	九州	1,504	26.9
東北	800	14.3	沖縄	1,285	23.0

*回答はあてはまるものすべて

図表20 日本で体験してみたいこと（新潟訪問希望者）*上位20位を抽出

		新潟訪問希望者 (n=111)	アジア全体 (n=97)	欧米豪全体 (n=14)	欧米豪全体- アジア全体
1	伝統的日本料理を食べる	72.1	73.2	64.3	▲ 8.9
2	現地の人々が普段利用している安価な食事を食べる	67.6	68.0	64.3	▲ 3.8
3	自然や風景の見物	64.0	64.9	57.1	▲ 7.8
4	桜の観賞	64.0	64.9	57.1	▲ 7.8
5	温泉への入浴	64.0	67.0	42.9	▲ 24.2
6	有名な史跡や歴史的な建築物の見物	62.2	60.8	71.4	10.6
7	雪景色観賞	58.6	60.8	42.9	▲ 18.0
8	紅葉の観賞	55.9	59.8	28.6	▲ 31.2
9	世界遺産の見物	54.1	56.7	35.7	▲ 21.0
10	遊園地やテーマパークに行く	52.3	57.7	14.3	▲ 43.4
11	スイーツを食べる	52.3	52.6	50.0	▲ 2.6
12	日本の酒（日本酒・焼酎）を飲む	51.4	50.5	57.1	6.6
13	繁華街の街歩き	50.5	50.5	50.0	▲ 0.5
14	新幹線に乗る	48.6	51.5	28.6	▲ 23.0
15	日本文化の体験（寿司握り、そば打ち、伝統工芸品の制作など）	47.7	48.5	42.9	▲ 5.6
16	伝統的な住宅を利用した宿泊施設での宿泊	47.7	50.5	28.6	▲ 21.9
17	イベント・祭りの見物	45.9	45.4	50.0	4.6
18	自然や資源を損なうことのないよう配慮されている観光地・観光ツアーに行く	45.9	47.4	35.7	▲ 11.7
19	食品や飲料のショッピング	45.9	49.5	21.4	▲ 28.1
20	日本旅館での宿泊	45.9	46.4	42.9	▲ 3.5

*回答はあてはまるものすべて

図表21 日本で体験してみたいこと（佐渡訪問希望者）＊上位20位を抽出

（単位：％）

	佐渡訪問 希望者 (n=39)	アジア全体 (n=33)	欧米豪全体 (n=6)	欧米豪全体－ アジア全体
1 桜の観賞	56.4	54.5	66.7	12.1
2 有名な史跡や歴史的な建築物の見物	51.3	54.5	33.3	▲ 21.2
3 伝統的日本料理を食べる	51.3	54.5	33.3	▲ 21.2
4 温泉への入浴	48.7	54.5	16.7	▲ 37.9
5 スイーツを食べる	48.7	51.5	33.3	▲ 18.2
6 紅葉の観賞	46.2	48.5	33.3	▲ 15.2
7 繁華街の街歩き	46.2	48.5	33.3	▲ 15.2
8 農作物や果実の採取（リンゴ・いちご狩り等）	46.2	45.5	50.0	4.5
9 食品や飲料のショッピング	46.2	45.5	50.0	4.5
10 雪景色観賞	43.6	48.5	16.7	▲ 31.8
11 遊園地やテーマパークに行く	43.6	51.5	0.0	▲ 51.5
12 ドラマや映画のロケ地の見物	41.0	48.5	0.0	▲ 48.5
13 日本文化の体験（寿司握り、そば打ち、伝統工芸品の制作など）	41.0	42.4	33.3	▲ 9.1
14 日本旅館での宿泊	41.0	42.4	33.3	▲ 9.1
15 現地の人から借りる家・アパートでの宿泊	41.0	42.4	33.3	▲ 9.1
16 世界遺産の見物	38.5	39.4	33.3	▲ 6.1
17 美術品や文化財、博物館の鑑賞	38.5	39.4	33.3	▲ 6.1
18 現地の人々が普段利用している安価な食事を食べる	38.5	42.4	16.7	▲ 25.8
19 日本の酒（日本酒・焼酎）を飲む	38.5	33.3	66.7	33.3
20 洋服やファッション雑貨のショッピング	38.5	36.4	50.0	13.6

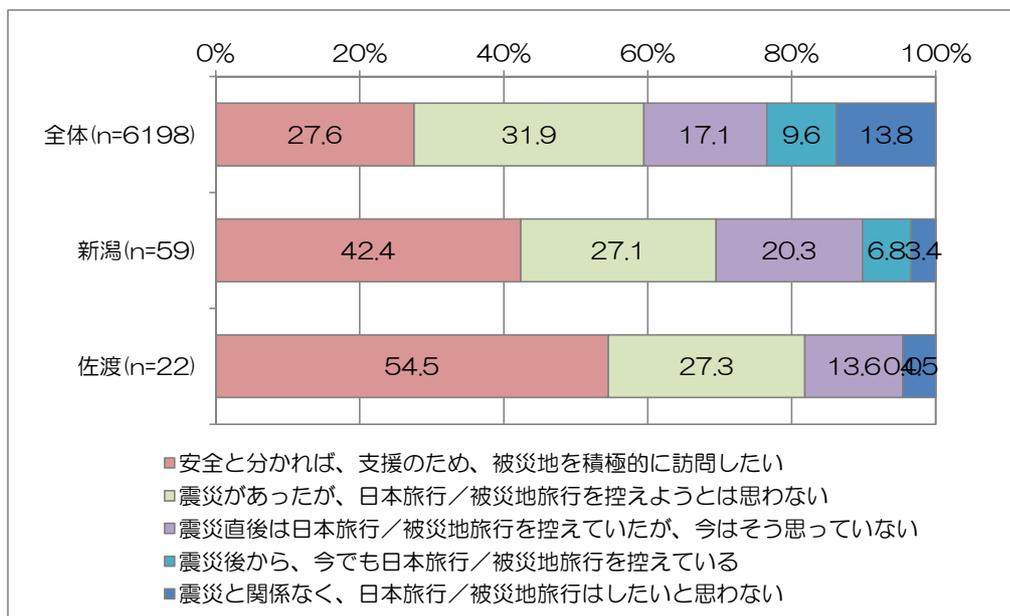
＊回答はあてはまるものすべて

震災の影響・訪日旅行の不安等①

-日程や宿泊施設の予約に訪問制約を感じている傾向-

- 新潟、佐渡訪問経験者では、震災（2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震）のために旅行を控える、という傾向は全体に比べて少ない。
- 新潟訪問では、日程や宿泊施設の予約に制約を感じている傾向がある。特に佐渡では交通手段が限られるためか、交通面での制約を感じている傾向がある。

図表22 震災後の影響



図表23 訪日旅行の制約条件（訪問経験者）

(単位：n・%)

	n	な出発地から目的地への直行便が	取れなくなる日程で飛行機の予約が	が取れなくなる目的地的な飛行機の便	で希望する高レベルのホテル等が予約日	約できなかつた喫煙部の可否等）が数、	が希望する日程で宿泊施設の予約	の希望する都市・地域で宿泊施設	その他	特に制約はなかった
全体	2,545	344	396	243	378	255	253	113	29	1,347
	100.0	13.5	15.6	9.5	14.9	10.0	9.9	4.4	1.1	52.9
新潟	59	10	8	7	12	7	9	5	1	33
	100.0	16.9	13.6	11.9	20.3	11.9	15.3	8.5	1.7	55.9
佐渡	22	4	9	9	9	7	3	0	0	5
	100.0	18.2	40.9	40.9	40.9	31.8	13.6	0.0	0.0	22.7

* 回答はあてはまるものすべて

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

震災の影響・訪日旅行の不安等 -佐渡訪問希望者は、クレジットカード利用を不安-

- これから訪日を希望する人が不安に思っていることをみると、全体では「言葉が通じるかどうか不安」の割合が最も高く、次いで「滞在費（現地での費用）が高い」「渡航費用が高い」が続く。
- 新潟訪問希望者では、「地震が起こるかどうか心配」の割合が最も高く、次いで「放射能による健康被害が心配」「言葉が通じるかどうか不安」「滞在費（現地での費用が高い）」が続く。
- 佐渡訪問希望者では、「言葉が通じるかどうか不安」の割合が最も高く、次いで「公共交通機関の利用方法やネットワークが分からない」が続く。また、「クレジットカードを利用できる場所が少ない」は全体に比べて10ポイント以上高い。

図表24 訪日旅行の不安材料

(単位：%)

	全体 (n=6198)	新潟 (n=139)	佐渡 (n=54)
言葉が通じるかどうか不安	44.7	33.1	37.0
滞在費（現地での費用）が高い	37.0	33.1	22.2
渡航費用が高い	34.8	28.1	18.5
地震が起こるかどうか心配	34.7	38.8	22.2
放射能による健康被害が心配	29.8	38.1	20.4
放射能の安全性に関する情報が分からない	23.5	24.5	22.2
公共交通機関の利用方法やネットワークが分からない	18.5	20.9	27.8
病気や怪我にあった時が心配	16.8	19.4	20.4
携帯電話や通信機器が利用しづらい（Wi-Fi等が利用しづらい）	14.0	18.7	13.0
2016年におきた九州地方における地震による被害の復旧の状況が分からない	13.6	12.9	16.7
2011年におきた東日本における地震による被害の復旧の状況が分からない	12.3	15.1	18.5
食べ物が合わない	10.9	11.5	16.7
出発日・コース・価格などで条件に合うツアーがない	10.6	14.4	13.0
日本に行くまでの時間がかかりすぎる	9.7	7.9	11.1
申込み手続きが面倒	9.5	15.1	9.3
治安が心配	9.5	12.2	14.8
外貨両替を利用できる場所が少ない	7.9	12.2	13.0
クレジットカードを利用できる場所が少ない	7.9	11.5	18.5
自国金融機関のキャッシュカードを利用できる場所が少ない	7.1	9.4	13.0
習慣が合わない	6.8	7.9	13.0
信仰する宗教に対する理解と配慮が乏しい	6.3	7.9	14.8
その他	2.3	3.6	1.9

*回答はあてはまるものすべて

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

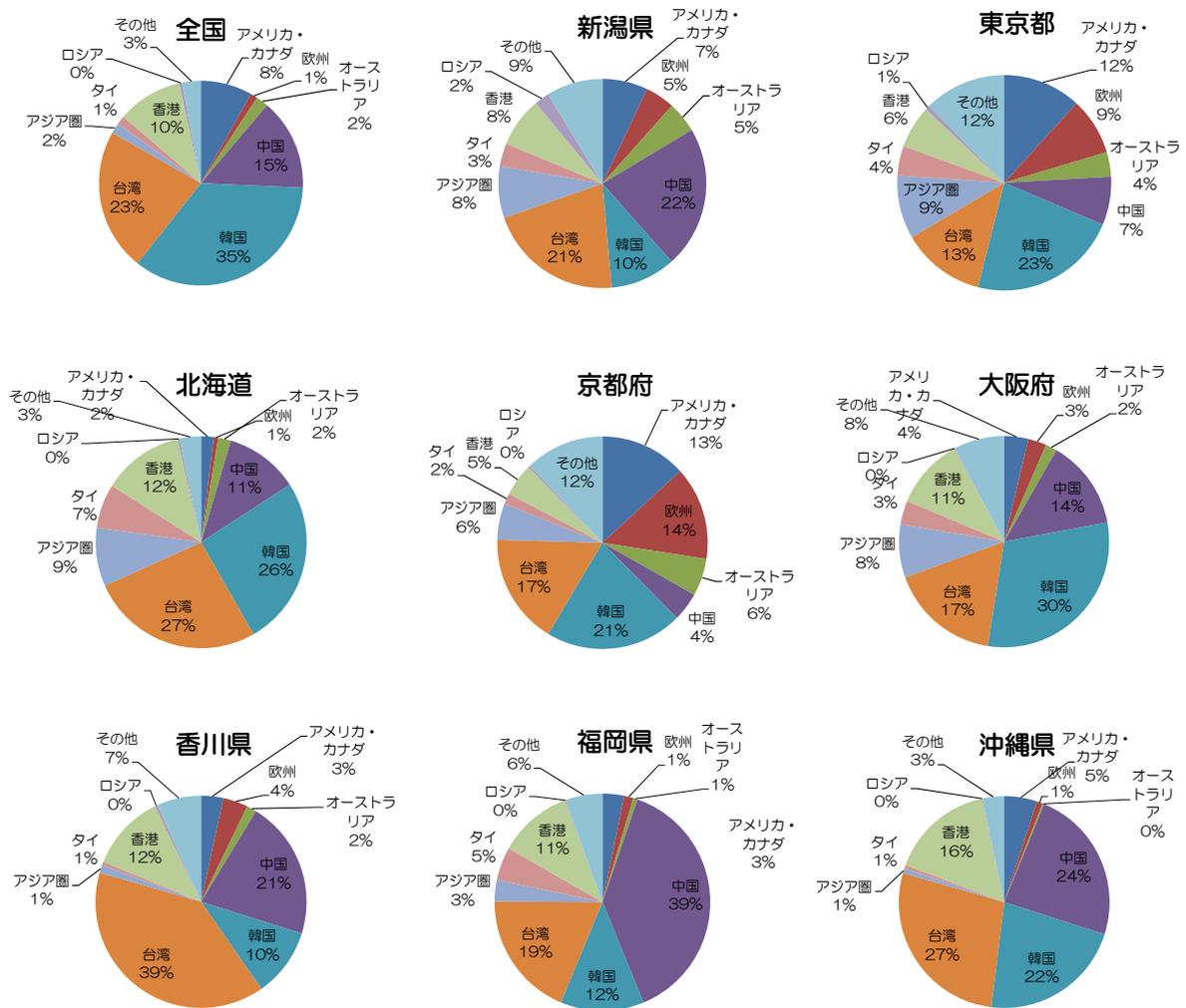
外国人観光客の宿泊傾向

外国人延べ宿泊者数の国別構成比の比較

-新潟県では、欧米豪の外国人宿泊者割合が全国に比べ多い-

- 観光庁の「宿泊旅行統計調査」（2015年）によると、新潟県の外国人延べ宿泊者数は、中国、韓国、台湾の3国を合わせて5割を超えている。
- 欧米豪（アメリカ・カナダ、欧州、オーストラリア）については、合計で17%と、全国に比較して多い。

図表25 2015年都道府県別外国人延べ宿泊者数比較



(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

外国人観光客の宿泊傾向

外国人延べ宿泊者数の国別構成比の比較

-オーストラリアは若干の円高傾向時も、観光客数を伸ばしている-

● 為替レートと新潟県に宿泊した延べ外国人数の関連性をみてみると、中国、台湾では、円安傾向が進むにつれ、延べ宿泊者数が伸びている。2014年から2015年にかけては、やや円高傾向であったが、延べ宿泊者数は大きく伸びた。一方、韓国では、円安傾向にあるものの、延べ宿泊者数の伸びには繋がっていない。オーストラリアは若干の円高傾向にあるが、観光客数は大きく伸びている。

図表26 為替レートと外国人宿泊客数（新潟県）の推移

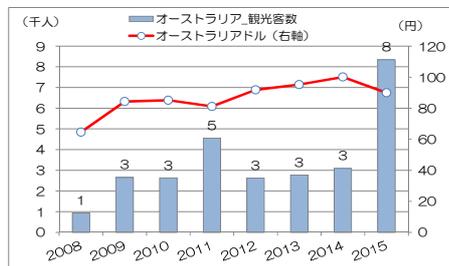
アメリカ・カナダ



欧州・ロシア



オーストラリア



中国



韓国



台湾



* 為替レートは、1通貨単位あたりの相場（韓国ウォンのみ100単位）
 * 為替レートは、各年12月30日時点
 * 欧州・ロシアには「イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、イタリア、スペイン」が含まれる。ただし、ロシアは2010年から、イタリア、スペインは2015年から含まれる。
 （出所）三菱東京UFJ銀行ホームページ、観光庁「宿泊旅行統計調査」

参 考

参考1：新潟県外国人延べ宿泊者数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2012	4,115	3,585	2,639	5,535	3,104	3,218
2013	5,656	4,671	3,346	5,601	4,211	3,356
2014	5,111	4,163	6,698	6,885	5,440	6,326
2015	9,223	7,609	6,548	9,920	8,988	8,382

(単位：人)

年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2012	4,939	3,373	5,571	13,850	15,132	5,890	70,951
2013	7,025	4,610	8,840	20,482	18,108	7,851	93,757
2014	7,744	6,197	16,180	30,272	30,606	11,584	137,206
2015	9,815	6,951	20,360	46,369	39,141	15,318	188,624

(出所)新潟県産業労働観光部産業振興課資料

参考2：客室稼働率（平成28年1月～12月）

（左、単位：%、右：宿泊施設タイプ別の都道府県順位）

	全体	旅館	リゾート ホテル	ビジネス ホテル	シティ ホテル	簡易宿所					
全国	70.8	54.8	60.2	77.5	78.9	45.8					
北海道	70.9	63.5	55.5	76.9	77.2	54.8					
青森県	59.9	54.6	39.4	64.9	60.0	29.1					
岩手県	60.5	53.7	41.7	73.5	67.5	46.9					
宮城県	65.4	51.3	42.9	74.6	70.8	48.2					
秋田県	55.1	45.5	34.6	64.8	65.8	24.6					
山形県	58.9	47.5	31.7	71.8	65.7	11.3					
福島県	63.8	49.2	47.4	79.7	70.7	20.1					
茨城県	64.3	41.1	56.0	69.0	71.9	24.0					
栃木県	62.5	54.1	56.5	75.2	62.5	42.4					
群馬県	64.6	59.7	50.5	74.6	64.7	19.0					
埼玉県	74.3	54.5	32.1	77.1	80.9	27.1					
千葉県	78.4	49.9	85.7	75.8	80.8	59.7					
東京都	82.1	80.3	77.5	84.0	80.9	67.9					
神奈川県	77.7	67.4	69.8	82.2	82.1	43.8					
新潟県	57.7	45	39	35.0	44	70.1	40	67.8	19	30.1	22
富山県	60.1	40.6	53.1	70.7	66.8	26.1					
石川県	71.6	60.6	53.3	79.4	80.3	29.1					
福井県	63.4	50.3	52.4	74.9	56.4	34.0					
山梨県	62.8	61.7	59.6	70.4	58.1	33.4					
長野県	54.9	47.3	43.0	72.7	73.0	20.9					
岐阜県	63.8	57.7	56.1	75.9	72.7	25.7					
静岡県	64.7	62.9	54.6	74.2	72.5	25.7					
愛知県	74.9	45.5	55.3	79.1	80.3	51.1					
三重県	62.5	55.8	51.2	69.7	70.6	14.2					
滋賀県	65.1	59.3	58.5	71.7	74.1	27.7					
京都府	80.0	58.8	54.6	87.5	87.7	54.2					
大阪府	86.3	62.6	90.1	86.6	87.9	71.7					
兵庫県	69.5	59.4	59.5	80.9	76.7	24.3					
奈良県	62.4	44.7	74.1	72.2	77.3	18.6					
和歌山県	57.8	49.0	56.0	70.3	67.5	42.9					
鳥取県	63.1	49.8	36.3	76.7	72.8	23.3					
島根県	70.3	59.5	40.2	76.9	68.4	30.4					
岡山県	68.5	55.1	47.0	74.6	70.0	43.8					
広島県	73.6	53.9	56.8	80.5	82.0	42.3					
山口県	65.3	56.0	52.6	70.3	67.0	30.8					
徳島県	64.1	45.8	61.3	73.9	63.8	19.6					
香川県	66.6	55.2	67.8	72.4	66.7	38.0					
愛媛県	69.0	65.6	56.5	71.6	70.7	36.2					
高知県	63.4	47.4	51.2	69.8	72.2	37.7					
福岡県	75.4	38.6	63.6	78.6	82.0	35.1					
佐賀県	64.6	52.0	64.8	73.6	61.3	21.4					
長崎県	64.4	46.4	55.7	75.0	67.4	41.1					
熊本県	66.7	55.9	44.0	74.5	72.6	44.6					
大分県	62.7	50.9	60.5	69.3	66.2	8.6					
宮崎県	60.4	43.6	43.1	69.8	58.8	34.4					
鹿児島県	62.6	52.8	40.8	72.2	64.4	18.1					
沖縄県	77.6	-	77.0	79.0	81.1	52.8					

* 宿泊施設タイプ別に見たとき、客室稼働率が最も大きかった都道府県を朱書きにしている。

また、客室稼働率が80%を超えている都道府県は青色、90%を超えている都道府県は黄色で示している。

(出所)国土交通省「宿泊旅行統計調査」

参考3：新潟、佐渡訪問希望者が 日本で体験してみたいこと（すべての項目）

	全体		新潟		佐渡	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
n	3,164	100.0	111	100.0	39	100.0
自然や風景の見物	1,854	58.6	71	64.0	14	35.9
雪景色観賞	1,639	51.8	65	58.6	17	43.6
桜の観賞	2,077	65.6	71	64.0	22	56.4
紅葉の観賞	1,583	50.0	62	55.9	18	46.2
有名な史跡や歴史的な建築物の見物	1,670	52.8	69	62.2	20	51.3
近代的／先進的な建築物の見物	970	30.7	45	40.5	13	33.3
最新のファッションや流行の見物	698	22.1	39	35.1	12	30.8
ドラマや映画のロケ地の見物	437	13.8	27	24.3	16	41.0
最先端の工場や伝統工芸品・加工食品工場見学・体験	574	18.1	35	31.5	11	28.2
世界遺産の見物	1,458	46.1	60	54.1	15	38.5
イベント・祭りの見物	1,141	36.1	51	45.9	13	33.3
国際スポーツ大会の観戦	208	6.6	13	11.7	9	23.1
国内のプロスポーツ観戦	212	6.7	15	13.5	5	12.8
伝統的なスポーツ（相撲、剣道、柔道等）の観戦	532	16.8	16	14.4	9	23.1
美術品や文化財、博物館の鑑賞	932	29.5	47	42.3	15	38.5
遊園地やテーマパークに行く	1,095	34.6	58	52.3	17	43.6
繁華街の街歩き	1,360	43.0	56	50.5	18	46.2
マリンスポーツ	218	6.9	15	13.5	5	12.8
ウィンタースポーツ	333	10.5	23	20.7	12	30.8
テニスやゴルフ等のスポーツ	116	3.7	8	7.2	1	2.6
登山やハイキング	405	12.8	25	22.5	9	23.1
サイクリング	378	11.9	25	22.5	10	25.6
スポーツ大会（マラソン等）への参加	114	3.6	20	18.0	10	25.6
鉄道に乗る	1,065	33.7	48	43.2	12	30.8
新幹線に乗る	1,499	47.4	54	48.6	14	35.9
演劇や伝統芸能鑑賞	662	20.9	36	32.4	9	23.1
ギャンブルやショー体験	218	6.9	19	17.1	5	12.8
美容・理容体験（美容院、ネイル、メイク等）	306	9.7	14	12.6	11	28.2
ナイトライフ（バーやクラブ、ナイトマーケット等）体験	904	28.6	36	32.4	11	28.2
温泉への入浴	1,766	55.8	71	64.0	19	48.7
農作物や果実の採取（リンゴ・いちご狩り等）	818	25.9	44	39.6	18	46.2
日本文化の体験（寿司作り、そば打ち、伝統工芸品の制作など）	1,312	41.5	53	47.7	16	41.0
自然や資源を損なうことのないよう配慮されている観光地・観光ツアーに行く	1,178	37.2	51	45.9	12	30.8
伝統的の日本料理を食べる	2,190	69.2	80	72.1	20	51.3
現地の人が普段利用している安価な食事を食べる	1,895	59.9	75	67.6	15	38.5
日本の酒（日本酒・焼酎）を飲む	1,116	35.3	57	51.4	15	38.5
スイーツを食べる	1,259	39.8	58	52.3	19	48.7
ブランド品や宝飾品のショッピング	458	14.5	29	26.1	10	25.6
洋服やファッション雑貨のショッピング	985	31.1	48	43.2	15	38.5
家電製品やAV製品のショッピング	572	18.1	27	24.3	11	28.2
化粧品や医薬品の購入	928	29.3	49	44.1	15	38.5
食品や飲料のショッピング	1,253	39.6	51	45.9	18	46.2
アニメやポップカルチャーに関するグッズの購入	644	20.4	34	30.6	11	28.2
伝統工芸品の購入	999	31.6	47	42.3	12	30.8
豪華で快適な高級ホテルでの宿泊	769	24.3	40	36.0	14	35.9
安価で基本的な設備のみが備わっている施設での宿泊	852	26.9	28	25.2	7	17.9
日本旅館での宿泊	1,530	48.4	51	45.9	16	41.0
現地の人から借りる家・アパートでの宿泊	712	22.5	35	31.5	16	41.0
伝統的な住宅を利用した宿泊施設での宿泊	1,174	37.1	53	47.7	15	38.5
日本人々と交流	832	26.3	39	35.1	8	20.5
語学や専門知識の吸収	511	16.2	22	19.8	9	23.1
ボランティア体験	232	7.3	15	13.5	3	7.7
治療や健診を受ける	139	4.4	13	11.7	3	7.7
クルーズ船の利用	399	12.6	28	25.2	7	17.9
その他	6	0.2	1	0.9	0	0.0

* 回答はあてはまるものすべて

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下



日本政策投資銀行
Development Bank of Japan

©Development Bank of Japan Inc.2017

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要ですので、当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず、『出所：日本政策投資銀行』と明記して下さい。

(お問い合わせ先)

□株式会社日本政策投資銀行 新潟支店 企画調査課
〒951-8066 新潟市中央区東堀前通6-1058-1 中央ビルディング7階
TEL : 025-229-0711 FAX : 025-224-5986